

1. 平和主義                      2. 法の支配                      3. 国民主権                      4. 基本的人権の尊重

1. 衆議院の総議員の3分の2以上の賛成と、参議院の総議員の過半数の賛成

2. 衆参各議院の総議員の過半数の賛成

3. 衆参各議院の総議員の3分の2以上の賛成

4. 衆参各議院の出席議員の3分の2以上の賛成

1. 天皇は象徴であり政治的な力を持たないため、その行為から生じる政治的責任を内閣が負うようにするため。
2. 天皇が国政に関する権能をより強力に行使し、内閣を指導できるようにするため。
3. 内閣の判断を天皇が最終的にチェックし、不適切な指名を拒否する権限を確保するため。
4. 天皇が三権分立における行政権の長として、内閣に指示を与える立場であることを示すため。

1. 社会福祉の拡充                  2. 裁判所の独立性                  3. 国民の表現の自由                  4. 政治権力の濫用

1. 公共の福祉                      2. 基本的人権の尊重                      3. 国民主権                      4. 平和主義

1. 各議院の出席議員の過半数の賛成      2. 各議院の出席議員の3分の2以上の賛成      3. 各議院の総議員の過半数の賛成      4. 各議院の総議員の3分の2以上の賛成

1. 領海                      2. 公海                      3. 排他的經濟水域                      4. 接續水域

1. 地方自治の本旨                      2. 法の支配                      3. 多数決の原理                      4. 政教分離の原則

1. 国民が署名を集めて発議し、国会で3分の2以上の賛成を得た後、天皇が国事行為として承認する。
2. 最高裁判所が違憲審査を行い、国民投票で過半数の賛成を得た後、国会が発議する。
3. 国会が発議し、閣議決定を経て国民投票を実施した後、内閣総理大臣が公布する。
4. 国会が発議し、国民投票による承認を得た後、天皇が国民の名において公布する。

1. 三権分立                      2. 平和主義                      3. 基本的人権の尊重                      4. 国民主権

1. 内閣の指名に基づいて、最高裁判所長官を任命する

1. 内閣や裁判所といった他の独立した機関を、完全に従わせることができる絶対的な権力を持つこと

2. 他の国家機関が行う予算の執行や判決に対して、すべて事後に承認を与える義務があること

3. 国民の意思を最も直接的に反映する機関として、政治において尊重されるべき地位にあること

4. 天皇の権限を代行する機関として、国のすべての決定を自由に行うことができること

1. 第二次世界大戦直後にソ連軍によって占領されたこと
2. サンフランシスコ平和条約で日本の放棄する範囲が曖昧だったこと
3. 韓国が公海上に独自の境界線（李承晩ライン）を設定したこと
4. 周辺海域に石油資源が埋蔵されている可能性が指摘されたこと

1. 選挙において必ず特定の政党に投票し、政治に参加する責任

2. 経済的な発展を第一に考え、環境保護よりも開発を優先する責任

3. 自らの権利を濫用することと避け、常に公共の福祉のために利用する責任

4. 国家の利益を最優先し、個人の自由を完全に行使しない責任